

新年のご挨拶 2018年 新春

新春のお慶びを申し上げます

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます

昨年は春季大会後より新しい執行部体制となり、これまでの理念体系構築の中で蓄積された多くの議論に学びつつ、その実現に向けて学会活動の具体の在り方を模索しながら進めてまいりました。皆様のご理解ご協力により、学会活動を推進できましたことを、改めてお礼申し上げます。

2017年は、様々な新しいシステムや方法の導入も進みました。マイページの導入による会費等の納入手続きの電子化、学会誌や大会予稿集の電子版配布、学会誌の投稿および査読の電子化等々、学会活動の充実と利便性、効率性、経済性等の向上のための新しい試みを実施に移してまいりました。新しいシステムの運用に際して問題が発生するなど円滑な運用にはまだ努力を必要とするところもあり、会員の皆様にはご不便等をおかけしているところもございます。それぞれの業務に当たってくださっている各委員会および事務局、そしてすべての会員の皆様のご理解ご協力により、より良い学会活動を支える基盤を整えていきたいと存じます。どうか今後とも問題点のご指摘なども含め、学会活動へのご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、本年は日本語教育推進議員連盟による日本語教育に関する法律がいよいよ形になるものと思われ、また文化庁から日本語教育人材の養成・研修に関する新たな枠組が示される見通しです。日本語教育に関する社会的課題が各方面で取り上げられている中で、日本語教育学会として何ができるか、何をすべきかについての検討を進めつつ、具体の活動を迅速に力強く進めて行かねばなりません。「人をつなぎ、社会をつくる」という本学会の使命を学会員一人ひとりが心に留め、アクションを起こしていくことが、今まさにもとめられており、それこそが日本語教育の意義・役割についての社会的認識を高めていく力となるものと思います。みなさまのお力が社会をつくる大きな力となっていくために、人と人とのつながりを生み深める場となり、活動の展開を促進する基盤となる日本語教育学会でありたいと念じております。本年も引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって佳き年になりますようお願いいたします。

公益社団法人 日本語教育学会  
会長 石井 恵理子